

令和6年度放課後等デイサービス自己評価表(公表)

鹿嶋市総合福祉センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善内容など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			・活動内容によっては同じ敷地内にある老人福祉センターを利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			・基準通り対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			・子どもの特性に合わせて、環境調整を行っている。 ・個別訓練・相談については、いつも同じ部屋ではないので、教材の工夫等をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			・毎日の消毒清掃や、定期的に館内清掃や害虫駆除を行っている。 ・定期的に、安全点検を実施し、子どもが安心して過ごせるよう整備している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDSAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			・年3回、ケース連絡会議を開催し、相談支援体制の確認、見直しを行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			・年1回、アンケート調査を実施し、頂いた意見については、職員間で共有・検討し、業務改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			・館内掲示やホームページで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	・利用者や関係機関等からの意見を聞きながら、必要時業務の見直しを図ると共に、県指定外部評価事業所への依頼を検討している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			・施設内研修を実施すると共に、外部研修の機会がある時は積極的に参加をしている。 ・個別訓練・相談の相談員は、必要性に応じ、個別研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			・個別訓練・相談では、必要に応じてアセスメントツールを使用している。 ・子どもの年齢や状態に合わせて、発達検査等を行っている。
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか			<input type="radio"/>	・個別訓練・相談では、各相談員が立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			・子どもの発達課題や興味関心に配慮した活動内容で支援している。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			・支援の都度、個人ファイルに支援内容や課題、保護者からの相談内容等を記録し、各相談員が情報共有できるようにしている。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			・6カ月に一度、個別支援計画の見直しを行い、中間評価として保護者に説明している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、改善内容など
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑲	保健センターや子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携しているか	<input type="radio"/>			・必要に応じて連携している。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			・親子通所施設のため、支援場を保護者と共有する中で、子どもの発達の状況や課題等を共有すると共に、相談対応を行っている。
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>			・ペアレント・トレーニングの資格保有者である心理相談員が、必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	㉖	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			・面接時に丁寧な説明を心掛けている。また、運営規定を施設内に掲示している。
	㉗	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>			
	㉘	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			・親子通所施設のため、その都度相談が可能であり、必要な助言を行うことができる。
	㉙	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			<input type="radio"/>	・個別訓練・相談のため、保護者会等は開催していない。また、開催に関してご意見は頂いていない。今後、要望等があれば、検討していく。
	㉚	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			・相談や申入れがあった際は、他職員の意見も聞きながら、適切な対応ができるよう努めている。
	㉛	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			・事業概要や当センターからのお知らせ等については、館内に掲示している。
	㉜	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			・利用申請時に個人情報使用同意書を保護者から頂いている。また、関係機関と連絡を取り合う時は、改めて保護者に了承を得るようにしている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善内容など
非常時等の 対応	③4	危機管理マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		・職員については、マニュアルに基づいた訓練を実施している。 ・保護者への周知については、マニュアルの掲示等の体制を整えていく。
	③5	非常災害の発生に備え、定期的に避難等必要な訓練を行っているか	○			・年2回、敷地内にある社会福祉協議会、シルバー人材センターと合同で訓練を行っている。 ・個別訓練・相談の利用者の参加形態は今後検討していく。
	③6	事前に、服薬、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			・面接時に確認をしている。
	③7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例があれば記録し、共有している。
	③8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止及び身体拘束等適正化に関する施設内研修を、年2回実施している。 ・個別訓練・相談の相談員に関しては、今後資料を配布する等を検討している。
	③9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明して了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか			○	・現在、対象利用者がいないため、未実施。 ・身体拘束に限らずスピーチロックについても、配慮している。